

2024 年 4 月 5 日  
双日株式会社

## インドネシアのジャワ 1 LNG 火力発電所が商業運転開始

双日株式会社(以下「双日」)は、インドネシア国営石油・ガス会社 P T. Pertamina (以下「プルタミナ」)、丸紅株式会社(以下「丸紅」)、株式会社商船三井(以下「商船三井」)などと共同で進めてきたジャワ 1 (JAWA 1) 液化天然ガス(LNG)火力発電プロジェクト(以下「本事業」)について、火力発電所の工事を完了し、2024 年 3 月 29 日より商業運転を開始しました。



【液化天然ガス(LNG)火力発電所】



【洋上 LNG 貯蔵・再ガス化設備】

インドネシアでは発電の 60%を石炭火力発電に依存しており、再生可能エネルギーへの移行や環境負荷の低い LNG ガス火力発電所の整備が重要となっています。本事業は、2017 年 1 月にプルタミナと丸紅、双日の 3 社が共同出資する P T. Jawa Satu Power 社(以下「JSP」)と、インドネシア国営電力会社 P T. PLN (以下「PLN」)が 25 年間の長期電力売買契約を締結し、2018 年 12 月より首都ジャカルタ近郊のカラワンで LNG を燃料とする火力発電所(1,760MW)と洋上 LNG 貯蔵・再ガス化設備(以下「FSRU」)の建設を進めてきたものです。FSRU はプルタミナと丸紅、双日、商船三井などが共同出資する P T. Jawa Satu Regas 社が建造・所有・操業しています。

本事業は発電施設とガス関連施設を一体として開発する Gas-to-Power としてはアジア初のプロジェクトであり、CO<sub>2</sub> 排出量削減(330 万トン/年)に貢献します。本事業では JSP は PLN に対して電力供給を行い、約 430 万世帯の電力需要を賄う見込みです。

双日は今後も、インドネシアでさらなるエネルギーインフラ事業の展開を目指し、地域の電力供給の安定化や脱炭素化に貢献していきます。

(ご参考)

【ジャワ 1 LNG 火力発電プロジェクト 概要】

1) LNG 火力発電所

事業会社	PT. Jawa Satu Power
出資比率	プルタミナ 40%、丸紅 40%、双日 20%
所在地	首都ジャカルタ近郊のカラワン(ジャカルタの東方約 100km)
発電設備容量	1,760MW
売電先	PT. PLN
売電期間	25 年間

2) 洋上 LNG 貯蔵・再ガス化設備

事業会社	PT. Jawa Satu Regas
出資比率	プルタミナ 26%、丸紅 20%、商船三井 19%、双日 10%、その他 25%
所在地	西ジャワ州チラマヤ沖
貯蔵容量	170,000 m <sup>3</sup>